



「へ旧海軍連合艦隊司令部日吉台地下壕の保存を求める署名」を集め、横浜市長および神奈川県知事に陳情することが本決りとなりました。

保存の会は一九八九年の発足以来、地道に活動を続けてまいりました。会員になつてくださつた方は延べ七三〇名余り、会報は第三五号をお届けするところまできました。

会の代表者（鮫島会長、東郷副会長、寺田事務局長）と慶應義塾の担当理事との第一回公式会見も行なわれました。地下壕見学の希望者もあとをたたず、時にマスコミなどにも取り上げられています。「平和のための戦争展」は三回を重ね、多くの人々に感銘を与えました。この時期に、かねてからの懸案である陳情署名を集めることができ、幹事会、運営委員会で数回にわたり練られ、実行に移すことが決定いたしました。署名を集めたためには、大勢の方々の力が必要です。会員の皆様の絶大なるご協力をお願い申しあげる次第です。

会員のみなさまには、五名以上の署名を集めてくださるようお願いいいたします。  
用紙の追加を希望する方はご連絡ください。自分でコピーして用紙をつくり、集めてくださいさつても結構です。

署名の書き方について①居住地はどこにお住いでも結構です。②住所は「」にせず、一人ずつ書いてください。③印鑑のない時はサインをお願いします。④ペンまたはボールペンでお書きください。⑤未成年でも判断できる年齢なら差し支えありません。

同封の封筒にいれてポストに投函してくれば、切手はいりません。  
十一月二十一日までに机扱函してください。なお、会員以外の方々にもお願ひする予定で、これまで地下壕見学に参加された方、「平和のための戦争展」に来られた方、生協や労働組合、学生ゼミなどにも声をかけています。

「へ旧海軍連合艦隊司令部下壕の保存を求める署名」にご協力下さい

今年は第二次世界大戦終結50周年の年にあたり、世界でも日本でも様々な取り組みがなされております。第二次世界大戦のような大きな出来事になりますと、人によりその位置づけ、解釈は様々であろうかと思います。しかしこのような悲惨、不幸を繰り返してよいと思う人は誰ひとりいないでしよう。

しかし50年という歳月は決して短いものではありません。いま世代も交代しつつあります。過去の不幸は一時も早く忘れた方が良いと考える人もおりましよう。しかしドイツ

の大統領ワイツゼッカー氏も言うように、過去に目を閉ざせば未来も正しく見えなくなるのはないでしようか。幸か不幸か日吉台の地下には旧海軍連合艦隊司令部の地下壕が眠っています。これこそ先の戦争の第一級の遺跡です。これを保存し一般に公開することは、戦争の悲惨さと平和の重要さを認識して行くうえでのまたとない助けとなることでしょう。

会員の皆さん、どうか署名に積極的にご協力下さるようお願いいたします。



慶應 応美 義塾と

公武会見開始

義塾の新理事会発足当初から非公式会見が数回行なわれており、第一回公式会見で何らかの問題解決のてがかりがつかめるものと期待していたのだが、見るべき成果は得られなかつた。

①当局は行政当局の「対応策」が得られるまでは静観の方針で、壕の見学も正式には行なつていいない。②横浜などの行政当局の動きはよくわかつてない。③戦後50年を記念した行事は当局として考えていない。④したがつて理事会にも正式に保存の問題をはかったことがない。

以上四項目が明らかになつた。昨年来、保存の会との数回の非公式会見がもたらされたにもかかわらず、当局は何等積極的な方針を出そうとしているように見うけられるが、会としては辛抱強い交渉を行なつて展望を見出していかなければならぬだろ。



50年前私の町は戦場だったのか、これが第一印象。また、日吉の司令部の話は前から知っていたが写真で見ると改めて考えるものがある。それよりも、戦時下の教科書や教育、これが第一に印象深い。一言、こんな教育を2度と許すな！ 31才

戦時下の学校の教科書やそれにスミぬりをしたものを見たことがあります。国民全部がマインドコントロールされていたような時代が、ほんの50年前にあったかと思うとおどろくばかりです。33才

コベル神父とご家族の方の業績を知って、胸がつまると同時に感激もしました。2度と戦争を繰り返さないために、地球上での民族紛争を終結していくために、私は何がやれるのか。教師として何を生徒に教えればよいか。新たな決意に立つことができました。この戦争展が、たくさんの団体・個人・草の根の運動をつなぐ大きなステップとなりつつあることを確信しています。39才

慰安婦の問題・731部隊・毒ガス兵器・連行etc, etc知っているつもりでも一つづつほりおこしていくと、まだまだしらないことばかりでハッとなります。一例として相模湖のピクニックランドにも子どもたちがよく行きますが、違った目で見つめることになります。悲劇をくり返さないため、そういった説明の記念碑がたくさん必要ですね。37才

学童疎開や強制連行とか戦争遺跡など、特に神奈川県内にそのあとが残っているのが身近で生なましく感じられました。それから米軍機墜落事件の展示を見たのは初めてですが亡くなった方の無念が思われて、あらためて基地はいらないと思いました。43才

神奈川にこんなにいろんな団体が平和のために闘っているという事実に心をとらえられました。時の流れの中で埋もれようとする歴史を掘りおこし、事実を明らかにする中で平和は守られ、平和はひきつがれていくという実感を持つことができました。この会を支えた方々に感謝いたします。46才

神奈川新聞が戦争中、軍国主義者のお先棒かつぎをして国民を戦争へかりたてた過去を自ら検証し反省したことはじめて知りました。大新聞が揃って戦争中の姿勢についてほおかむりを決め込んでいる中で立派な態度で信頼感を抱きました。52才

神奈川県内にあった日吉地下・藤沢基地・栄区の姿が良くわかった。65才

先日、日吉海軍司令部の壕を見て来たところですが、司令が丘にのぼって笑い話に盡きたところとなり、間違った先の見通しの無い戦争に一握りの国の指導者に左右された日本の末路は全くざんきに耐えぬ。多くの敢えて言うなら兵士・民間人、財産を失い此の現実を直視して民主国家の熟成に努力せなくては。69才

戦争、国内空襲、思想弾圧、疎開事情等々、写真でみせられて今、改めて平和の有り難さを感じて居ります。学徒でビルマの果てまで征って慰安婦に接した事はなかったが写真でびっくりして居ります。再びあの様な戦争は防ぎましょう。70才

このような展示を引き続き県内各地でおこなってほしい。今年に限らず毎年続いていいってほしい。32才

## 「95平和のための戦争展・かながわ」感想文

わたしは、しらなかつたことが あつたので よかたと 思いました。ビデオとかもみたので よくわかりました。どうして せんそうが はじまつたかが しりたいです。7才

痛々しい限りだった。写真や文章から当時の様子が目を通してみてわかる。父も戦時中の生まれで当時の事はよくきかされていたが、あんなにもひどい状況だとはわからなかつた。現在日本は平和（と言える状態ではないが）だが、これから先どんな事が起きるとも限らない。それを防いでいくのが今の我々の世代ではないだろうか。16才

（げんばく）戦争でたくさんの人人が亡くなつたのに、まだかくじっけんをしようとしている国があるのはゆるせない。なにも悪いこともしてない人たちをたくさん日本軍は殺した。これもゆるせないと思う。12才

生写真はなかなか見れないので今日の展示の時、胸の痛み（写真の悲劇さ）と、見れたうれしさで気持ちがごちゃまぜになつてた。戦争の時は『国のため』『天皇のため』とかTVとかでよく言ってたと思うけど今の時代はみんな國のために自分を犠牲になんかできなき思う。16才

普段何気なく生活している分には、こういう事実があったなんてみじんも感じられません。ですが、この平和な日々の影に尊い犠牲が支払われたこともわざれてはならない事実です。だからこの戦争展はそういう事実を風化させないためにもとても重要な役割をもっているといえるでしょう。この悲しい出来事を繰り返さないためにも、僕等でその役割を受け継いでいきたいです。15才

学校の授業や祖母の話などで、けっこう戦争の事は分かっているつもりでした。しかし今日、写真や資料を実際にみたり手に取ったりしてみて戦争のすごさ・恐ろしさが今までにはないほど伝わって来ました。また、原爆による被災を唯一受けている日本として、フランス・中国などの核実験にはせつたに反対・中止をもとめていかなければならぬと思います。今日はとても良い経験をしたと思います。16才

日本軍の中国（アジア諸国）への侵略はとてもひどいものでした。同じ人間なのに！日吉台地下にあった司令部は初めて知りました。今、大学に通っている学生は知っているのでしょうか。横須賀に住んでいますが、軍関係の基地の多さにあらためてびっくりしました。平和の運動をおおくの人にひろめていきたいし、自分も勉強していきたい。29才

戦争を一面からだけみるのではなく、歴史の史実に沿つて見ることができてよかったです。自分の出身校で戦時に毒ガス兵器を作るために学生がはたらかされていたということを、今日初めて知ってショックだった。29才

弓削先生の講演をきかせて頂きました。「あの戦争」というのか15年戦争だけではなく明治以前からさかのぼつていかなくてはならないことがわかり、とても（難しい）勉強になりました。ただ、年号と語いが多く頭の中で混乱してしまったので、資料などをいただけるとよかったです。24才

弓削先生の「今、日本の眞の国際貢献とは過去の侵略戦争に謝罪すること」という言葉は同感です。今日の話は1889年以来の近代史を跡づけられ、記憶の整理となりました。福沢諭吉に関する先生の話は啓蒙的でした。最後に述べられた戦後50年、国民の責任論には多少異論を感じます。68才

連載

日吉台地下壕

当時の関係者の  
思い出話 12

日吉の日々 4

昭和一九年三月頃から敗戦まで連合艦隊司令長官付の従兵であつた金子氏のお話です。

金子 善一氏の話

昭和一七年徴兵検査甲種合

格。一年二ヶ月後に武山の海兵団に入隊した。卒業後、三重航空隊に配属されたのち、奈良県の丹波町（天理市近辺）

の予科練に移った。昭和一九年三月、私ほか九名に「大淀に乗艦を命ず」という指示があつた。乗艦した途端当番兵にカツを入れられ、兵員室に案内され三機三連装機銃についわれた。



昭和19年11月、日吉司令部の作戦室で執務中の司令官豊田副武大将。左端にいるのが参謀長草鹿龍之介中将、右端が航空参謀淵田美津雄中佐、長官の後ろが副官桑原春雄中佐。

しばらくして、桑原春雄副

官（大佐）に連合艦隊の従兵を命ぜられた。従兵は家柄が良くなればなれず、八親等まで調べられるそうだ。私の

実家は磯子近郊の大地主で農業をやっていた。

従兵長は上等兵曹の岩館氏、下に二等兵曹の本橋氏がいた。私は見習であつた。厳しかつ

たがビンタはなかつた。偉い人の前に出る時醜い格好をしていてはいけないので、ビンタは禁止されていた。

やがて草鹿龍之介参謀長

（中将）の従兵になつた。当

時、豊田副武長官の従兵は北島氏で、昭和一九年夏頃、三笠宮がこられた時、昼食のスープを運んでいてこぼし、宮様の椅子に少しかかつたため、従兵長の怒りにふれ更迭された。そんなことがあつて、私が長官付の従兵になつた。

海軍では昼は洋食と決つていて、従兵は食器の並べ方、持ち方、食べ方などを最初に教えられた。長官が食事をする時は非常時を除いて軍楽隊が演奏した。食事は軍属の烹炊長がつくり、従兵が運んだ。

長官の身のまわりの世話、例えば洋服をクリーニングに出したり、靴下や肌着を洗濯

したりした。従兵は大事にさ

れていた。太つてきた私は特別に服を作つてもらつた。

昭和一九年夏頃、長官は九

州の鹿屋航空隊に特攻隊を激

励に行つた。私もついていつ

た。鹿屋は俗に一式ライター

と呼ばれ、人間魚雷の特攻基地であった。長官は豊田副武と書いた短剣を持攻隊員一人

と渡した。みな感激して

一人に渡した。（戦後衆議院議員）が訪問し

連合艦隊が日吉に移転して

からは、慶大の寄宿舎の中寮にいた。豊田長官は南寮に寝泊りしており、時々源田実

（戦後衆議院議員）が訪問した。敗戦間近長官は東北地方の航空隊基地などに時々激励

に出かけた。

中寮と南寮の間に長官専用の風呂があり、西側に別の大きな風呂があつた。烹炊所は

それぞれの寮に、作戦室は中寮にあった。寮の東側の少し離れた所に機関兵の宿舎があり、自動車の整備をしていた。食事はかなりよかつた。参謀以上の将校は銀シャリ（飯）を食べていた。朝食は味噌汁、干物、甘煮、漬物など。昼食はフォーク、スプーンを使つての洋食で、肉料理の時にはワインがついた。中尉以上と兵士がかかりきりで面倒を見

以下は違い、少佐以上はまた違う。下士官は麦と米の割合が七・三であった。量は十分あり、腹が減る事はなかつた。食糧事情はよく、地下に

備蓄されていたようだ。

中寮と北寮の間で七面鳥を飼っていた。「二ワトリを飼つた経験者はいないか」といつて飼育係を募集し、一人の兵士がかかりきりで面倒を見

「95 平和のための戦争展かながわ」について、開催まぎわに前号でお知らせしましたが、ご覧になられましたでしょうか。神奈川新聞 95・8・9 の記事をお届けします。

## 若き世代に平和訴え

鎌倉で11日から「戦争展」  
が協力して開かれます。

市民団体 写真など300点

平和の大切さを、戦争展を通して訴えたい。「95 平和のための戦争展かながわ」が、十一日から鎌倉市大船の鎌倉芸術館ギャラリーで開かれる。主催は同実行委（弓削達委員長）。これまで、個々に平和を訴えてきた各団体が、主催者の呼び掛けで初めて協力し合った戦争展で、会場には写真パネルを中心に、資料、遺品など約三百点が展示される。

戦争展のテーマは「戦争」「相模海軍工廠(じょうこう)」「神奈川」。戦争を体験し、「藤沢みその地区特殊地下」と「市民生活」「女性と戦争」「私の町にも戦争があった」という。ギャラリーでは「船と戦争」「日本の侵略

がそれぞれ展示される。

「戦争」ギャラリーでは、「戦争と教育」「戦時下の光人社

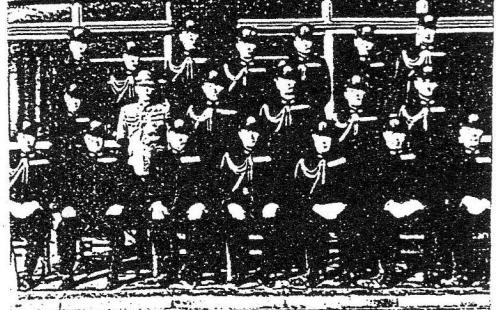
がそれぞれ展示される。

いずれも写真や現物、地図などで構成される。なかでも米穀通帳や衣料キップなどは、当時の市民生活の一端をうかがわせる。「戦

行為に関心を呼びそろ。教育勅語の現物とパネル、学校儀式、軍需教練、学童疎開、勤労動員といった当時の

行われるが、期間中の十一日午後三時から「戦後50年に問われるもの」と題して、いよいよ吉谷地下壕を保存する会が紹介、併せて旧陸軍謀略密基地竜戸研究所跡の写真も展示される。

ほかに、戦没船を記録する会の「輸送船の悲劇」、「治安維持法下の反戦平和の戦争回想」(午後一時)、十三日は鎌倉近代美術館の水沢



昭和20年1月、日吉司令部作戦室前の聯合艦隊幕僚。左から參謀副長の高田少將、神立金作軍医長、司令長官豊田大將、侍従武官、參謀長草鹿中將。後列の左から3人目が著者。

写真は中島親孝著「連合艦隊作戦室から見た太平洋戦争」六号より抜粋転載)  
一九八八年より

ていた。長官が盆栽を貰つた時も経験者を募集した。連合艦隊が丘に上がつたことを聞いた時、兵隊たちも勝ち目はないと思った。

(生協ニュース教職員版第四

運営会員登録、会報提出口

第二回

九月五日一八時

日吉地区センター

議事

▼地下壕保存の陳情について

\*六月二六日につづき、再度文書の検討をはじめ、今後の予定について話し合われた。

\*年内に横浜市長、神奈川県知事に陳情する

\*会報三五号に署名を集めることが決定したこと、ご協力ををお願いする旨を掲載する

\*締切りは一一月三〇日とする

\*一一月三〇日まで有効の返事

～～～～～～～～～～～～～～

お知らせ

日吉台地下壕見学会

日時：11月26日（日）

集合時間：午後1時

集合場所：東急東横線

日吉駅改札口

会費：500円

準備する物：懐中電燈

深い長靴

所用時間：3～4時間

申込み：往復はがきで

事務局まで

定員30名で打切らせて

いただきます。

注意：①民家に迷惑を

かけない

②壕内の湧き水を

濁らさない

③説明会場へは泥を

ぬぐってから入る

\*署名集めの依頼状、陳情署

名用紙、地下壕の概略と写真

を載せた資料を一括し、会報

第三五号とともに発送する

\*九月二七日に発送作業が出

来るよう、準備する

\*会員および今までの見学会

などに参加した人々にもお願

いする

\*生協、労組、学生ゼミなど

にもお願いする

\*締切りは一一月三〇日とす

る

～～～～～～～～～～～～～～

信用封筒を同封する  
松井車両会員登録口第二回  
七月一八日一一時  
ブルーベア

報告（第三四号掲載のつづき）

二二、七月一五日～一七日川崎市平間の法田寺で「戦後五

〇年・私の町平間で戦争がわかる」を開催。地域から寄せられた資料・写真を展示公開。

二七、同二八日泉区小中学校

二二、同二八日戦争反省会開催

二三、同一八日保存の会幹事会開催

二四、同二三日慶應の理事と

鮫島会長、東郷副会長、寺田

事務局長との会談予定

二五、八月一一日～一三日

講師：白井厚経済学教授

場所：三田キャンパス図書館

テーマ：「なんであんな戦争

される」「95平和のための戦争

展かながわ」に保存の会も参

加。写真、パネルの展示、小

冊子、絵葉書の販売を予定

二六、同二〇日日吉地区セン

ター「戦後50年特別企画」に

よる見学会予定

二七、同二八日泉区小中学校

社会科教員による見学会予定

二八、一二月二日大学生協平

和文レク委員会による見学会

予定

二九、同七日下田小PTAに

による見学会予定

二二、同一八日戦争反省会開催

二三、同一八日保存の会幹事会開催

二四、同二三日慶應の理事と

鮫島会長、東郷副会長、寺田

事務局長との会談予定

二五、八月一一日～一三日

講師：白井厚経済学教授

場所：三田キャンパス図書館

テーマ：「なんであんな戦争

される」「95平和のための戦争

展かながわ」に保存の会も参

加。写真、パネルの展示、小

冊子、絵葉書の販売を予定

二六、同二〇日日吉地区セン

ター「戦後50年特別企画」に

よる見学会予定

二七、同二八日泉区小中学校

社会科教員による見学会予定

二八、一二月二日大学生協平

和文レク委員会による見学会

予定

二九、同七日下田小PTAに

による見学会予定

二二、同一八日戦争反省会開催

二三、同一八日保存の会幹事会開催

二四、同二三日慶應の理事と

鮫島会長、東郷副会長、寺田

事務局長との会談予定

二五、八月一一日～一三日

講師：白井厚経済学教授

場所：三田キャンパス図書館

テーマ：「なんであんな戦争

される」「95平和のための戦争

展かながわ」に保存の会も参

加。写真、パネルの展示、小

冊子、絵葉書の販売を予定

二六、同二〇日日吉地区セン

ター「戦後50年特別企画」に

よる見学会予定

二七、同二八日泉区小中学校

社会科教員による見学会予定

二八、一二月二日大学生協平

和文レク委員会による見学会

予定

二九、同七日下田小PTAに

による見学会予定

二二、同一八日戦争反省会開催

二三、同一八日保存の会幹事会開催

二四、同二三日慶應の理事と

鮫島会長、東郷副会長、寺田

事務局長との会談予定

二五、八月一一日～一三日

講師：白井厚経済学教授

場所：三田キャンパス図書館

テーマ：「なんであんな戦争

される」「95平和のための戦争

展かながわ」に保存の会も参

加。写真、パネルの展示、小

冊子、絵葉書の販売を予定

二六、同二〇日日吉地区セン

ター「戦後50年特別企画」に

よる見学会予定

二七、同二八日泉区小中学校

社会科教員による見学会予定

二八、一二月二日大学生協平

和文レク委員会による見学会

予定

二九、同七日下田小PTAに

による見学会予定

二二、同一八日戦争反省会開催

二三、同一八日保存の会幹事会開催

二四、同二三日慶應の理事と

鮫島会長、東郷副会長、寺田

事務局長との会談予定

二五、八月一一日～一三日

講師：白井厚経済学教授

場所：三田キャンパス図書館

テーマ：「なんであんな戦争

される」「95平和のための戦争

展かながわ」に保存の会も参

加。写真、パネルの展示、小

冊子、絵葉書の販売を予定

二六、同二〇日日吉地区セン

ター「戦後50年特別企画」に

よる見学会予定

二七、同二八日泉区小中学校

社会科教員による見学会予定

二八、一二月二日大学生協平

和文レク委員会による見学会

予定

二九、同七日下田小PTAに

による見学会予定

二二、同一八日戦争反省会開催

二三、同一八日保存の会幹事会開催

二四、同二三日慶應の理事と

鮫島会長、東郷副会長、寺田

事務局長との会談予定

二五、八月一一日～一三日

講師：白井厚経済学教授

場所：三田キャンパス図書館

テーマ：「なんであんな戦争

される」「95平和のための戦争

展かながわ」に保存の会も参

加。写真、パネルの展示、小

冊子、絵葉書の販売を予定

二六、同二〇日日吉地区セン

ター「戦後50年特別企画」に

よる見学会予定

二七、同二八日泉区小中学校

社会科教員による見学会予定

二八、一二月二日大学生協平

和文レク委員会による見学会

予定

二九、同七日下田小PTAに

による見学会予定

二二、同一八日戦争反省会開催

二三、同一八日保存の会幹事会開催

二四、同二三日慶應の理事と

鮫島会長、東郷副会長、寺田

事務局長との会談予定

二五、八月一一日～一三日

講師：白井厚経済学教授

場所：三田キャンパス図書館

テーマ：「なんであんな戦争

される」「95平和のための戦争

展かながわ」に保存の会も参

加。写真、パネルの展示、小

冊子、絵葉書の販売を予定

二六、同二〇日日吉地区セン

ター「戦後50年特別企画」に

よる見学会予定

二七、同二八日泉区小中学校

社会科教員による見学会予定

二八、一二月二日大学生協平

和文レク委員会による見学会

予定

二九、同七日下田小PTAに

による見学会予定

二二、同一八日戦争反省会開催

二三、同一八日保存の会幹事会開催

二四、同二三日慶應の理事と

鮫島会長、東郷副会長、寺田

事務局長との会談予定

二五、八月一一日～一三日

講師：白井厚経済学教授

場所：三田キャンパス図書館

テーマ：「なんであんな戦争

される」「95平和のための戦争

展かながわ」に保存の会も参

加。写真、パネルの展示、小

冊子、絵葉書の販売を予定

二六、同二〇日日吉地区セン

ター「戦後50年特別企画」に

よる見学会予定

二七、同二八日泉区小中学校

社会科教員による見学会予定

二八、一二月二日大学生協平

和文レク委員会による見学会

予定

二九、同七日下田小PTAに

による見学会予定

二二、同一八日戦争反省会開催

二三、同一八日保存の会幹事会開催

二四、同二三日慶應の理事と

鮫島会長、東郷副会長、寺田

事務局長との会談予定

二五、八月一一日～一三日

講師：白井厚経済学教授

場所：三田キャンパス図書館

テーマ：「なんであんな戦争

される」「95平和のための戦争

展かながわ」に保存の会も参

加。写真、パネルの展示、小

冊子、絵葉書の販売を予定

二六、同二〇日日吉地区セン

ター「戦後50年特別企画」に

よる見学会予定

二七、同二八日泉区小中学校

社会科教員による見学会予定

二八、一二月二日大学生協平

和文レク委員会による見学会

予定

二九、同七日下田小PTAに

による見学会予定

二二、同一八日戦争反省会開催

二三、同一八日保存の会幹事会開催

二四、同二三日慶應の理事と

鮫島会長、東郷副会長、寺田

事務局長との会談予定

二五、八月一一日～一三日

講師：白井厚経済学教授

場所：三田キャンパス図書館

テーマ：「なんであんな戦争

される」「95平和のための戦争

展かながわ」に保存の会も参

加。写真、パネルの展示、小

冊子、絵葉書の販売を予定

二六